

# 「同窓会主催 講演会」のご案内

同窓会会長 増田昌人（2期生）

総会終了後は、恒例となった講演会を行います。今年は5期生で、先年のSARS問題で大活躍した砂川富正さんに講演をお願いしました。

WHOの職員として世界中の感染症の調査を行い、その対策ではいつも最前線で頑張ってきた砂川さんの活躍は、「アジア・南太平洋地域を中心とする南に開かれた国際性豊かな医学部」の体現といっても過言ではないと思います。

学生時代から英語が達者で、同級生によれば、得意の語学とボート部で培った人間力で、将来は世界をまたにかけて活躍する予感があったとのことでした。

当日は、麻疹やインフルエンザを始めとする我が国の感染症対策の最前線のお話と、これまでのWHOで成し遂げた仕事の数々のお話が伺えると思います。

是非、皆様のご来場をお待ちしております。

## ＜砂川富正さん 略歴＞

昭和57年 3月	沖縄県立首里高等学校 卒業
平成3年 3月	琉球大学医学部医学科 卒業(5期生)
平成3年 4月	在沖縄米国海軍病院にて臨床研修
平成5年 4月	大阪大学医学部附属病院小児科医員
平成6年 4月	大阪大学大学院 医学系研究科生体統合医学小児発達医学講座
平成10年 3月	同上修了、医学博士取得
平成10年 4月	大阪府箕面市立病院小児科
平成11年 6月	大阪大学医学部附属病院小児科
平成11年 8月	国立感染症研究所実地疫学専門家養成コース(FETP)
平成13年 8月	同上修了
平成13年 9月	厚生労働省横浜検疫所検疫課
平成14年11月	国立感染症研究所感染症情報センター主任研究官、現在に至る (平成16年8月～平成19年6月;世界保健機関に短期派遣および長期赴任)